

Notes on the Alpine Flora of Mt. Nipesotsu, Prov. Tokachi, Hokkaido

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-03-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00065634

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



渡辺定元※ 北海道十勝国ニペソツ山の高山植物

S. Watanabe : Notes on the Alpine Flora of Mt. Nipesotsu, Prov.
Tokachi, Hokkaidō

北海道の中央高地の東南部、十勝川本流と支流の音更川の分水嶺をなしているところにニペソツ山（標高2,013m, 東経 $143^{\circ} 02' 15''$, 北緯 $43^{\circ} 27' 6''$ ）がある。本山の地質は北大地鉱教室の高橋功二氏によると、北の天狗岳（1,876m）、南の小ニペソツ岳（丸山、1692m）とともに第四期沖積世に形成された新期火山で、溶岩は斑晶が割合粗粒の含角閃石輝石安山岩よりなっている。

本山のフロラは、従来登山家により採集され、その成果の一部は館脇博士の隔離分布や横山春男氏の十勝植物誌にみることが出来る。また植物学者としては故小泉秀雄氏がおとずれているが、その資料は筆者には解らない。

筆者は幸に、本山を1956年6月、57年8月の両度にわたり訪れる機を得、本山のフロラが十勝国北部としては最も興味あるところと観察した。よつてこゝに本山のフロラを報告する次第である。

本山麓をとりまく針葉樹林はエゾマツ、トドマツが主体で、湿地はアカエゾマツ林となつているが、音更川流域の三叉台地は原生林の当時、胸高直径1m、樹高37~40mの典型的な針葉樹林を形成していた。また、十勝川上流ヌプントムラウシ川流域は、北海道に残された数少ない針葉樹原生林で、ha 当り 500m^3 の蓄積を有する所もある。これらの針葉樹林は、高さ1,200m附近において、ダケカンバとの混交林をへてダケカンバ林に移行する。ダケカンバ群落は、1,250m~1,400mにわたり観察出来たが、天狗岳の東北面においてはダケカンバの純林が存在せずエゾマツとの混交林よりハイマツ林に移行している。この群落は、ダケカンバーチシマザサ基群叢が主で、ダケカンバーミネカエデ基群叢は小面積ながら見られ、また、林床がクロウスゴ、オオバスノキ、コヨウラクツツジ、チシマヒヨウタンボク etc の灌木叢をなしているところもある。

ハイマツ林は1,500mより2,000mの山頂にまでいたるところにみられるが、特に西陵の末端部の大平の斜面においては大群落を形成し、樹高3mに到るものまで観察される。林床はヒメタケシマラン、ミツバオウレン、コガネイチゴ、リンネソウ、アスピカズラおよび蘚苔類などよりなつている。またダケカンバ林に接続する部分にてはウコンウツギ、アカミノイヌツゲ、チシマザサを林床にともなうことがある。尙、山頂の東側はバットレスとなつてゐるためハイマツ林を欠如している。

岩石、砂礫原にみられるキバナシヤクナゲーウラシマツツジ群落、ガシコウラシーウラシマツツジ群落等の矮生灌木叢は天狗岳頂上や、ハイマツ群落中にモザイク状に見られ、

※ 帯広市帯広営林局計画課

Obihiro Regional Forestry Office, Obihiro, Hokkaidō

チシマツガザクラ、ミネズオウ、コケモモ、コメバツガザクラ等をともなつてゐる。

草木群落は大平の東側、6月末まで残雪の残る斜面に小規模ながらみられ、ハイオトギリ、エゾウサギギク、エゾゼンティカ、エゾコザクラ、エゾキンバイソウ、ミヤマキンポウゲ、エゾオヤマノリンドウ、チシマフウロ etc. をかぞえる。高層湿原は天狗岳の東尾根上に片鱗がみられるのみである。よつて本山のフローラは一般に乾性であると云えよう。

フローラの上で最も興味ある個所は西陵、及び西北斜面で、マルバヤナギ、ムカゴトランオ、エゾタカネツメクサ、ツクモグサ、ホソバイワベンケイ、シコタソソウ、チヨウノスケソウ、カラフトゲンゲ、リシリゲンゲ、エゾキスミレ、レブンサイコ、ヒメイソツツジ、フタマタタンポポ、ユキワリガヤ、ユウパリリンドウ etc. を産する。

筆者の認めた本山の高山植物は102種を数えたが、これらの分布をみると、本州北部との共通種は78種でそのしめる割合は76%であり、本州中部77種(75%)、千島77種(75%)、樺太65種(63%)、カムチャツカ58種(56%)、大陸東北部52種(50%)、北アメリカ34種(33%)、朝鮮33種(32%)、ヨーロッパ28種(27%)、本州西南部19種(18%)なる結果を得た。これらのうち、千島、カムチャツカとの共通種は、北海道背陵山脈より特に高い比率を示し、本山が植物地理上から中央高地に属していることをうらづけている。

また、北海道の特産種はマルバヤナギ、エゾイワツメクサ、エゾホソバトリカブト、ウスエキトウヒレン、エゾキスミレ※の5種を数え、隔離分布上重要と考えられるものは、ミヤマイワデンダ、ツクモグサ、クモマユキノシタ、チヨウノスケソウ、カラフトゲンゲ、リシリゲンゲ、タカネシオガマ、フタマタタンポポ、ユキワリガヤ等である。

終りに、指導を与えられた、北大館脇教授、行を共にした帯広営林局大畠剛氏、杉本勲氏、大木正夫氏に感謝の意を表わす。

高山植物目録

Lycopodium complanatum Linn. var. *dilatatum* Nakai アスヒカズラ, *L. annotinum* Linn. var. *pungens* Desvaux タカネスギカズラ, *L. sitchense* Rupr. var. *nikoense* Takeda タカネヒカゲノカズラ, *Ctenitis quelpaertensis* H. Ito オオバショリマ, *Woodsia ilvensis* R. Br. ミヤマイワデンダ, *Pinus pumila* Regel ハイマツ, *Salix yezoalpina* Koidz. マルバヤナギ, *S. Reinii* Franch. et Savat. ミヤマヤナギ, *Betula Ermanii* Cham. ダケカンバ, *Alnus Maximowiczii* Callier ミヤマハシノキ, *Rumex montanus* Desf. タカネスイバ, *Polygonum viviparum* Linn. ムカゴトランオ, *Mimuartia arctica* Aschers. et Graebn. エゾタカネツメクサ, *Stellaria pterosperma* Ohwi エゾイワツメクサ, *Dianthus superbus* Linn. var. *speciosus* Reichb. タカネナデシコ, *Pulsatilla nipponica* Ohwi ツクモグサ, *Anemone narcissiflora* Linn. var. *sachalinensis* Miyabe et Miyake エゾノハクサンイチゲ, *Ranunculus acris* Linn. var. *nipponicus* Hara ミヤマキンポウゲ, *Aquilegia flabellata* Sieb. et Zucc. var. *pumila* Ohwi ミヤマオダマキ, *Aconitum yuparense* Takeda エゾホソバトリカブト,

※ エゾキスミレが火山地帯に産することが知られたのは、本山が初記録である。また、本種は沼ノ原山においても採集している。

Coptis trifolia Salisb ミツバオウレン, *Trollius Riederianus* Fischer et Meyer var. *japonicus* Ohwi エゾキンバイソウ, *Dicentra peregrina* Makino var. *pusilla* Makino マクサ, *Macropodium pterospermum* Fr. Schm. ハクセンナズナ, *Cardamine nipponica* Franch. et Savat. ミヤマタネツケバナ, *Sedum Ishidae* Miyabe et Kudo ホソバイワベソケイ, *Saxifraga laciniata* Nakai et Takeda クモマユキノシタ, *S. cherleroides* D. Don var. *rebunshirensis* Hara シコタソウ, *Parnassia palustris* Linn. var. *tenuis* Wahlenb. ヨウメバチソウ, *Spiraea betulifolia* Pall. var. *Aemiliana* Koidz. エゾマルバシモツケ, *Potentilla Matsumurae* Th. Wolf. ミヤマキンバイ, *Dryas octopetala* Linn. var. *asiatica* Nakai チヨウノスケソウ, *Geum pentapetalum* Makino チングルマ, *Rubus pedatus* Smith. ヨガネイチゴ, *Sorbus sambucifolia* Roemer タカネナナカマド, *Hedysarum hedysaroides* Sihinz et Thell. forma *hedysaroides* Linn. カラフトゲンゲ, *Astragalus shinensis* Ohwi タイツリオウギ, *Oxytropis rishiriensis* Matsum. リシリゲンゲ, *Geranium erianthum* DC. チシマフウロ, *Empetrum nigrum* L. var. *japonicum* K. Koch. ガンコウラ, *Ilex Sugeroki* Maxim. var. *brevipedunculata* Ohwi アカミノイヌツゲ, *Hypericum kamtschaticum* Ledeb. ハイオトギリ, *Viola biflora* Linn. キバナノコマノツメ, *V. crassa* Makino タカネスミレ, *V. hidakana* Nakai エゾキスミレ, *V. hidakana* f. *ciliata* Watanabe ケエゾキスミレ, *Bupleurum triradiatum* Adams var. *alpinum* Rupr. レブンサイヨ, *Tilingia ajanensis* Regel シラネニシジン, *Peucedanum multivittatum* Maxim. ハクサンボウフウ, *Diapensia lapponica* Linn. var. *obovata* Fr. Schm. イワウメ, *Gaultheria Miquelianiana* Takeda シラタマノキ, *Ledum palustre* Linn. subsp. *decumbens* Hult'en ヒメイソツツジ, *L. palustre* subsp. *diversipilosum* Hara var. *yezoense* Nakai エゾイソツツジ, *Loiseleuria procumbens* Desv. ミネズオウ, *Phyllodoce caerulea* Babington エゾノツガザクラ, *P. nipponica* Makino var. *tsugaefolia* Ohwi ナガバツガザクラ, *Arcterica nana* Makino コメバツガザクラ, *Arctous alpinus* Niedenzu var. *japonicus* Ohwi ウラシマツツジ, *Bryanthus Gmelini* D. Don チシマツガザクラ, *Cassiope lycopodioides* D. Don イワヒヂ, *Rhododendron aureum* Georgi キバナシヤクナゲ, *R. camtschaticum* Pallas エゾツツジ, *Vaccinium Vitis-Idaea* Linn. ヨケモモ, *V. axillare* Nakai クロウスゴ, *V. uliginosum* Linn. クロマメノキ, *Primula cuneifolia* Ledeb. エゾコザクラ, *Gentiana triflora* Pall. var. *japonica* Hara subvar. *montana* Toyokuni エゾオヤマリンドウ, *G. yuparensis* Takeda エウパリリンドウ, *Mertensia pterocarpa* Tatew. et Ohwi var. *yezoensis* Tatew. et Ohwi エゾルリソウ, *Thymus quinquecostatus* Celak. イブキジヤコウソウ, *Pedicularis Chamissonis* Steven var. *japonica* Maxim. ヨツバシオガマ, *P. verticillata* Linn. タカネシオガマ, *Pentstemon frutescens* Lambert. イワヅクロ, *Veronica Schmidtiana* Regel var. *pubescens* Tatew. シラゲキクバクワガタ, *V. Stelleri* Pall. var. *longistyla* Kitagawa エゾヒメクワガタ, *Linnaea borealis* Linn. リンネソウ, *Lonicera Chamissoi* Bunge チシマヒヨウタンボク, *Weigela Middendorffiana* K. Koch ウコソウツギ, *Patrinia sibirica* Juss. チシマキンレイカ, *Campanula dasyantha* Marsh. v. Bieb. チシマギキヨウ, *C. lasiocarpa*

Cham. イワギキヨウ, *Arnica unalascensis* Less. エゾウサギギク, *Artemisia arctica* Less. サマニヨモギ, *A. arctica* form. *villosa* Kitam. シロサマニヨモギ, *Erigeron Thunbergii* A. Gray var. *glabratus* A. Gray ミヤマアズマギク, *Crepis hokkaidensis* Babcock フタマタタンボポ, *Saussurea Riederii* Herder var. *yezoensis* Maxim. ナガハキタアザミ, *S. Yanagisawae* Takeda ウスエキトウヒレン, *S. Yanagisawae* form. *nivea* Ohwi エキバトウヒレン, *Deschampsia atropurpurea* Wahlenb. var. *paramushirensis* Kudo エキワリガヤ・タカネコメススキ, *Hierochloe alpina* Roem. et Schultes forma *monstruosa* Ohwi オオミヤマコウボウ, *Festuca ovina* Linn. var. *alpina* Grenier et Godron ミヤマウシノケゲサ, *Calamagrostis sachalinensis* Fr. Schm. タカネノガリヤス, *Poa hayachinensis* Koidz. ナンブソモソモ, *Trisetum spicatum* Richter リシリカニツリ, *Carex blepharicarpa* Franch. var. *dueensis* Akiyama タカネショウジョウスゲ, *C. flavocuspis* Fr. et Sav. ミヤマクロスゲ, *C. hakkodensis* Franch. イトキンスゲ, *C. stenantha* Fr. et Sav. var. *taietsuensis* Akiyama タイセツイワスゲ, *Luzula oligantha* G. Sam. タカネスズメノヒエ, *Heloniopsis orientalis* Tanaka ショウジョウバカラ, *Hemerocallis Middendorffii* Traut. et Mey. エゾゼンティカ, *Lloydia serotina* Reich. テシマアマナ, *Tofieldia mitans* Willd. var. *fusca* Ohwi クロミノイワゼキショウ, *T. Okuboi* Makino ヒメイワショウブ, *Orchis aristata* Fisch. ハクサンチドリ, *O. aristata* Fisch. f. *punctata* Tatew. ウズラバハクサンチドリ

Summary

Mt. Nipesotsu which is constructed by andesite is located in the intersections of $43^{\circ} 27' 6''$ N. L., $143^{\circ} 02' 15''$ E. L. and is 2,013 m. in height.

The alpine plants that I recognized on the mountain are 102 species.

The phytogeographical elements of these plants are as follows : Number of common species—The northern part of Honshū, 78. spp. (76%), the middle part of Honshū 77 spp. (75%), the Kuriles 77 spp. (75%), Saghalien 65 spp. (63%), Kamtchatka 58 spp. (56%), the northeastern part of Asia 52 spp. (50%), North-america 34 spp. (33%), Korea 33 spp. (32%), Europe 28 spp. (27%), the southern part of Honshū 19 spp. (18%) etc.

As Endemic species in Hokkaidō, are *Salix yezoalpina*, *Stellaria pterosperma*, *Aconitum yuparensense*, *Viola hidakana*, *Saussurea Yanagisawae*.

As disjunctive distribution, are *Woodsia ilvensis*, *Pulsatilla nipponica*, *Saxifraga laciniata*, *Dryas octopetala* var. *asiatica*, *Hedysarum hedysaroides*, *Oxytropis rishiriensis*, *Pedicularis verticillata*, *Crepis hokkaidensis*, *Deschampsia atropurpurea* var. *paramushirensis* etc.

○モイワランの新産地 高柳博氏が黒部鎌釣附近で採集された（昭和32年6月15日）無葉のラン科植物を金沢大学理学部植物学教室に持参し同定を依頼したところモイワラン *Cremastora variabilis* Nakai var. *Miyabei* T. Inoue である事がわかつた。此の変種の新産地として報告する。（進野久五郎）